

令和5年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第四小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・集団のきまりやルールを守って安全に学習に取り組んでいる。また、用具の使い方や安全な場の使い方についても、意識して活動できるようになった。
- ・教え合いや助け合いを行う学習を通して、互いに学び合う力が意識できるようになってきた。

(2) 課題

- ・児童がめあてをもって学習に取り組むために、担任が学習カードを活用するようにした。しかし、学年によって使用頻度に差があるので、全学級で積極的に取り組んでいく。
- ・児童がめあてを達成するために、課題を見つけることはできるが、どのように改善、解決していくのか方法を選ぶことができる児童が少ない。また自らの成長を振り返り、次時につなげることが難しい。
- ・昨年度の体力テストの結果から、本校児童の持久力に課題があった。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
運動の苦手な児童も進んで取り組むことができるよう、教師が見本を見せたり、友達の良い動きを取り上げたりする。また、体づくり運動を通して成功体験を多くさせながら運動する楽しさを味わわせ、技能の向上を図る。	各種の運動遊びにおいて、教師が動きの狙いを把握し、その狙いに合った動きを認めていく。児童がめあてをもって主体的に活動する授業展開に取り組む。	運動の狙いに合った様々な運動遊びを取り入れ、児童からの動きを引き出すようにする。児童がルールを守って楽しんで運動に取り組めるような活動を設定する。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
毎日健康に過ごすために、1日の生活の仕方が大切であることに気付くことができるようにする。そのため、学校として生活習慣を振り返ることができるような活動を行っている。グループの中で、互いの運動の様子を見合い、アドバイスをし合って、技能の向上を図る。	ゲームでは、試しのゲームをし、ルールの改善をしていくような展開にする。児童がめあてをもって、自分たちの実態や学習のねらいに合ったルールを考えて活動できるようにする。そのために、教師は的確な指導・支援をする。	児童の多様な動きを認める。学習の振り返りでは、自分や友達のよい動きや態度に注目し、小さな技能の向上を評価し、上手に励ます。 教師が事前に練習の仕方や審判の方法を明確に示し、児童がすすんでチーム練習やゲームのアドバイスや審判ができるようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<p>心の健康について、人との関わりが大切であることに触れ、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いて理解したりできるよう、コミュニケーションを多くとるようにする。</p> <p>苦手な児童もすすんで取り組むことができるよう、めあてを立てて教え合いや助け合いの場を多く取り入れていく。</p>	<p>どの単元でも1時間ごとに振り返りをする時間を設定する。また単元での学習が終わったら、自らの成長を振り返るようにする。</p> <p>ゲームやボール運動では、グループやチームでホワイトボード等を使い、作戦を考える時間を設定する。鉄棒や縄跳び運動など、めあてを立ててすすんで練習していくような環境作りに取り組む。</p>	<p>自分の学習課題を自己選択させ、達成できたという自信をもたせ、運動有能感を高める。</p> <p>児童全員が主体的に取り組むことができるようにチームやルール作りを行う。</p> <p>教師が事前に練習の仕方や審判の方法を明確に示し、児童がすすんでチーム練習やゲームのアドバイスや審判ができるようにする。</p>